

# 国内の自殺者 前年比3カ月連続増

16/25 系産

コロナ禍で減少傾向にあった国内の自殺者数が、7月からの3カ月連続で前年に比べ増加したことが、厚生労働省と警察庁の集計で分かりました。特に女性と若者の増加率が高くなっています。自死に至る原因や動機はさまざまですが、感染拡大で生活や収入が激変した影響が背景にあるとみられます。厚労省は今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響などを分析することとしています。

9月の自殺者数(速報値)は1805人(女性7月88人(15.6%)、8月187人(8.6%)増)増えました。このうち、前年同月比14.3%増、8月187人(40.3%)増、9月13人(8.6%)増、9月5人(0.4%)増で女性(0.4%)増、男性は7月に63人(5.1%)減、8月64人(5.6%)増、9月5人(0.4%)増、9月5人(0.4%)増で女性の急増が顕著です。

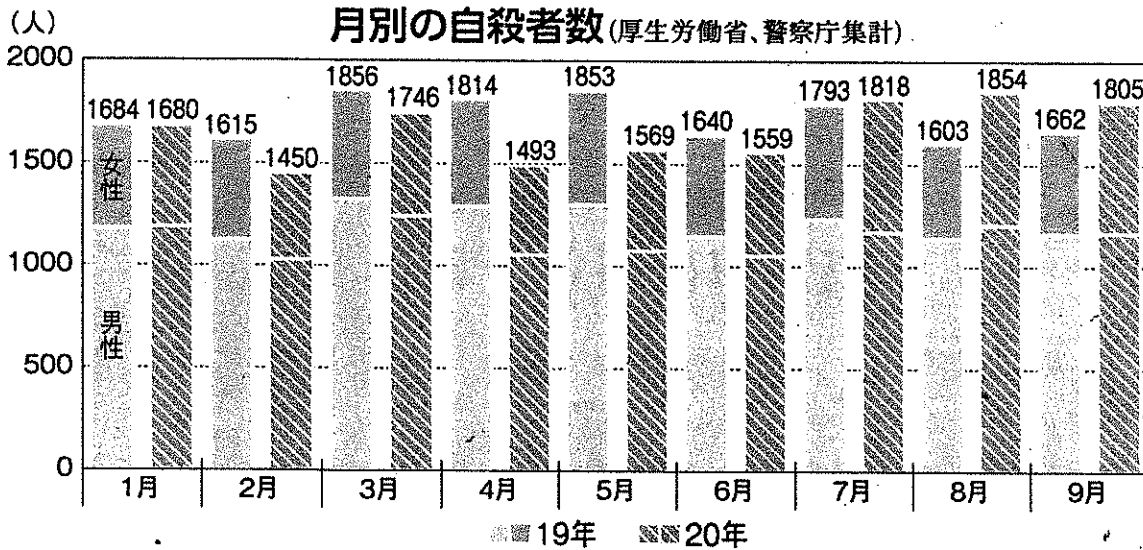
## 若い世代も

とところが7月になる8月251人、9月143人と3カ月連続で

厚労省の集計で年齢別の内訳を見ると、今年最も多かった8月は総数で前年比22.3%増だったのに対し、40歳未満は44.2%増と倍の多さで、特に若い世代の自死が目立ちま

## 女性高い増加率 コロナ禍のなか

月別の自殺者数(厚生労働省、警察庁集計)



した。うち女性は76.6%も増えています。始が前倒しされ、自粛「GOTOトラ」やイベント制限の緩和

## 仕事を失う

「コロナ禍で仕事を失い収入が激減した不安定雇用の女性たちは、特別定額給付金など手元にお金があるうちは何とか一時的にしのげた。しかし夏以降感染が再拡大し、生活資金が尽きてしまったり、いつ収束するのか先の見えない不安が女性を追い詰めている面とが求められます」

「シンママ大阪応援団」には、経済的・精神的に不安定な状況にありながら、子どものためにギリギリ踏みとどまっているママたちからのSOSが絶えないといわれています。

## 相談窓口

厚生労働省のホームページでは、悩みや不安を抱えて困っている時の相談先や相談方法などを紹介しています。

【こころの健康相談統一ダイヤル】  
0570(064)556 (有料)

【よりそいホットライン】  
0120(279)338 (無料)

岩手、宮城、福島からかける場合  
0120(279)226 (無料)